

番傘川柳本社

9月投句句会

締め切り…令和7年8月15日
参加者……………101名
投句整理……………中岡 千代美
柴田 桂子
名簿作成……………中岡 千代美
岡 桂子
清 記……………稲葉 良岩

宿題 どっしり 四枚田正敏 選

どっしりと最前席に坐るくせ
抱くたびに曾孫どっしり腰にくる
大の里の四股で土俵が引き締まる
どっしりと漬物石になる余生
座ってるだけで和みの輪が出来る
フェイクなど知らんどっしり鬼瓦
ふる里の土産どっしり米野菜
どっしりと構える妻は牛のよう
どっしりと構えたはずの軽い腰
どっしりと動かないのも策の内
どっしりと動かないのが役の石
そんな子もいるよと母は動じない
名工の木組みどっしり幾ちとせ
貧乏神どっしり居付き動かない
どっしりと夫が座り座が締まる
池本 ゆき
島田千代子
碓氷 祥昭
橘 和美
稲葉 岩明
みよすみこ
大岩 郁夫
蔵田 康子
田中 堂太
能田 文夫
常國 喜好
福本 清美
森島アツ梗
大島美智代
香川 保子

どっしりと鎮座慈顔の盧遮那仏
どっしりと古民家を支えてる梁
大仏がどっしり座る奈良旅情
どっしりと構え小心隠してる
原爆のかなしみ重くモニュメント
どっしりと値上げ待ってる米俵
正論に重くなります場の空気
家風変え嫁がどっしり腰据える
飽食にどっしり付いた皮下脂肪
山門に庄倒される知恩院
真ん中にどっしり母がいて平和
いつだてどっしり受けてくれた父
門構えどっしり中は火の車
小柄でもどっしり見えてくる巨匠
嬉しいなどっしり重い里の米
原発の魔炉どっしり負の遺産
どっしりと構えた父が居た昭和
三瀬清一郎
中村八十八
栗原つや子
藤井 裕美
小林 祥司
田中 葵
田中きみ子
辻 肇
西谷 公造
田中五十鈴
黒田るみ子
青嶋由紀美
山田 順啓
村田 繁一
久崎 田甫
西川 東岳
高瀬 秀子

宿題 長い夜 上坊 幹子 選

どっしりとたるま夕日になるところ
どっしりとぶれない愛で子は育つ
巨体でもノミの心臓です私
図書館の持ち出し禁止大辞典
どっしりと悠久生さる屋久の形
次世代がどっしり背負う温暖化
どっしりとあきたこまちの届く朝
打つ時は打つどっしりと四番打者
谷口委佐子
豊田 佳子
清水久美子
志方 智外
鈴木かつえ
和泉富美子
山岸 峰隆
四枚田正敏
碓氷 祥昭
碓氷 祥昭
坂本 和子
掃部 博隆
高橋 孝造
高瀬 秀子
替地三枝子
稲垣 義舟
田中きみ子
三瀬清一郎
山岸 峰隆
細川 正章
伊藤 博信
阿部 俊八
南 高志
ガザの子が飢えと戦う長い夜
まんじりとせぜに過した熱帯夜
クーラーが声を囁らして長い夜
冷房と綱引きをする長い夜
三回もトイレに起きてまだ夜中
眠れぬ夜フアにもたれモットゥアルト
哲学者たくさん作る長い夜
妻の愚痴終わりの見えぬ長い夜
告白のきつかけ探す眠れぬ夜
大雨警報不眠不休の長い夜
長い夜の父と勝負の千日手
救急医事なく長い夜が明ける
所在ない長い夜が待つ退職者
万が一がよぎり眠れぬオペ前夜
旅の宿漁火眺め夜もすがら

耐え忍び夜明け待てるウクライナ

ひと晩を長いと思う水枕

まんじりとませずICUに朝

点滴のポトリポトリが長い夜

だまし舟折つて忌日の二十五時

どしゃ降りの夜が明けない降り続く

来し方をぐるぐる長い夜になる

自分史のタイトル探す秋夜長

冤罪が決まって長い夜が明け

帰らぬ子捜して待った長い夜

献盃し友情語る長い夜

重篤の父の見舞いに夜行バス

尽きもせぬ思い出語る父の通夜

石ひとつ沈め静かな長い夜

喪が明けて独りの夜が長くなる

愛猫が逝ってひとりの長い夜

一匹の蚊と戦った長い夜

寝返りを教えきれない長い夜

捜索の再開を待つ長い夜

嫁ぐ子と時間忘れて語る夜

一夜きり月下美人の長い夜

手踊りが続くおわらの長い夜

漆黒の長い夜でも朝は来る

不用意な言葉を吐いて長い夜

警報をひまわりが聞く長い夜

宿題 きっかけ

穂山 常男 選

お互いに被害訴え戦争に

きっかけはどうあれ許されぬ戦

喧嘩するきっけなんて微妙だね

きっかけが無くて聞けない君の歳

デパ地下で肥るきっかけ事欠かぬ

再会のきっかけくれた投書欄

きっかけはふと手に取った入門書

骨折がきっかけだったジム通い

誤字指摘されて辞書繰る癖がつき

やる気の原点憧れの師の誉め言葉

あのひとの前で偶然転んだの

立ちくらみまさかの病さぐりあて

立ち直るきっかけくれた自己破産

母逝って寺と親しくなりました

きっかけを探しに入った古本屋

褒めたのが良かったらしい通知表

きっかけは方言だった巡り合い

和解するきっかけ作る母の知恵

同病と分かった日から友だちに

転職のきっかけになる親介護

恋冷める事の起こりは箸使い

きっかけをチャンスにかえる処生術

きっかけはもしもを思い習う経

松下 英秋

阿部 俊八

香川 保子

西川 東岳

近藤 クニ

山口由利子

藤井満洲夫

田中五十鈴

富永 熙子

土居 直子

栗原つや子

福本 清美

山田 順啓

掃部 博隆

山岸 洋美

久崎 田甫

蔵田 康子

恵利 菊江

谷口 東風

住田 照水

廣田ひで子

香川 大

桑野まりこ

あの言葉トラブル起こす胸騒ぎ
検診が怖くてジムを予約する
握手して乾杯すればもう仲間

きっかけはすでにあなたの中にある

きっかけを放さず掴み夢を見る

懺悔してきっかけつくる晴れる空

HBの鉛筆一本転がる日

確かめたくて小さな石を投げました

苦悩するトンネルの先から光

キューピッド役でした郵便友の会

なぜ何故が大発明につながった

手摺つけこれが古いへの合図かも

ポジティブに生きてきっかけどこにでも

望外のお褒めの言葉頂いた

たらればの中にきっかけ掴む石

見えない糸母から出てる短詩形

馴れ初めをワイングラスは語らない

宿題 ホー

阪本きりり 選

諸富 幹夫

藤井 裕美

替地三枝子

常國 喜好

入江 秀雄

主税みずほ

村上 哲子

田中きみ子

中武 弓

山内 悦次

更谷 風見

戸田 清孝

田中 葵

能田 文夫

小代千代子

村田 賢爾

西谷 公造

蔵田 康子

瀬戸 波紋

瀬戸 波紋

更谷 風見

村田 繁一

豊田 佳子

松岡登代子

鈴木かつえ

入江 晴菜

狐憑き屋根から屋根へ行き来する 清水久美子
 避けられぬ地震戦争ホラーの世 島田千代子
 リーダーの暴走止まぬ世はホラー 豊田 佳子
 官邸にホラー住み付き天下取る 入江 秀雄
 妖怪変化勢揃いする夏まつり 三瀬清一朗
 神社の石に小さなぶ毛生えている 中武 弓
 すれ違う見知らぬ人の手にナイフ 阿部 俊八
 お盆や彼岸スビリチナルな事がある 黒田るみ子
 本性は怖がりなのにホラー好き 志方 智外
 ホラー映画今のわたしが主人公 中谷 栄子
 ホラー映画今日はあなただ三本目 村上 哲子
 ホラー映画知らぬ男にしがみつ き 弘津 明子
 ホラー観る女の方が怖い顔 桑野まりこ
 厚化粧とればのっぺらぼうの妻 小林すみれ
 悪口も自慢話もみなホラー 佐藤 后子
 妻の手に俺の携帯ある恐怖 稲垣 義舟
 百万円知らぬ名前で振り込まれ 安藤 緑
 裏読みをする絵本もおっかない 掃部 博隆
 飽きてきたお化け屋敷のアルバイト 竹明なおみ
 今読んだはずの文章本にない 大岩 郁夫
 ごきぶりを叩いたはずが居ない夜 藤井 裕美
 くせのある妖怪だらけが実家 橘 和美
 寝苦しい丑三つ時にご出演 松下 英秋
 化粧する妻入り込む拡大鏡 富川 章
 築五十座敷わらしのいる団地 廣田ひで子

あるようでなかった様な夢をみる 石谷 恵子
 私の中に尽きないホラーの芽 常國 喜好
 この景色前にも見たと子が騒ぐ 戸田 清孝
 人間の心の底に住むホラー 鮎子田嘉子
 アバンチュールホラーの国へ行く列車 更谷 風見
 この病院入口があるが出口なし 田中きみ子
 倦怠期ホラー映画を観て飽きず 山田 順啓
 カチカチと切符切る音無人駅 小林 祥司
 シャワー全開ホラーの道へまっしぐら 主税みずほ
 宿題 食 べ る 田中 螢柳 選

同じメニューなのに毎朝違う味 鈴木かつえ
 子や孫に食べさせたいと母一途 島田千代子
 初めから別腹にするバイキング 村上 哲子
 腹いっぱい食べてまっすぐ子は育つ 青嶋由紀美
 食欲が増す泥つきの秋野菜 中武 弓
 手間掛けぬ母の手作り母の味 志方 智外
 家で食べるうどん一番おいしいね 香川 保子
 私より食べているのはお腹の子 石谷 恵子
 食べながら自給率などふと想う 山口由利子
 家族皆食べれるだけで幸思ふ 香川 大
 食レポのテレビに食べてみたくなる 嶋 喜八郎
 外食にブレイキかかる物価高 田中五十鈴
 食べ物があるだけいいさ戦中派 吉丸 等
 食べて寝る米寿健康めざす百 松岡登代子

おいしいの言葉はないがよく食べる 橘 和美
 食べて寝て元氣主治医に褒められる 橋本 恭治
 三分粥食べてうれしい七日ぶり 谷口委佐子
 明日は未知好きな物から先食べる 藤井 裕美
 ズワイガニ無言で食べるのがルール 羽生 悦郎
 食べられる幸せ胸に手を合わす 入江 秀雄
 三食を食べて人生まだいける 替地三枝子
 ご先祖と一緒に食べる盆の入り 弘津 明子
 晩御飯母の愛情でんこ盛り 塩谷 邦子
 美味く食べ痩せる対応考える 高瀬 秀子
 コンビニに慣れて知らない母の味 近藤 クニ
 食うことが楽しみ手術後のベッド 中村八十八
 値上げから腹八分目の医者いらす 高橋 孝造
 餓死者いてフードロスある世界です 入江 晴菜
 食べ出すと言うときかぬ箸になる 西澤 司郎
 食べられるこれが幸福老いの日日 戸田 清孝
 飢餓の子に申し訳ない食べ残し 瀬戸 波紋
 何があっても食べる事だけ忘れない 中谷 栄子
 好き嫌いなく残さず食べる戦中派 池本 ゆき
 全粥の完食退院は近い 山田 順啓
 満腹にさせたいガザの子らが待つ 茶谷 好太
 三食後生涯つき合う薬飲む 龍田 清成
 絵に描いた餅を食べさす選挙戦 藤井満洲夫
 ふるさとの空気おいしく三杯目 小林 祥司
 生きるため食べるためかと食べ続け 小代千代子

食べるため必死になって生きている 掃部 博隆

宿題 区切る 田中 新一 選

温暖化四季の区切りがぼけてくる
球場がチームカラーで真つ二つ
敗戦という日本史の一区切り
交流に区切ることない肌の色
区切られて人間さまの住む地球
人生を区切るワタシの誕生日
傘寿迎え免許返納するつもり
安堵した免許返納ああ不便
万博へロープで区切る整理学
マンネリの暮らしに飽きて趣味の会
ふるさと区切りをつける墓仕舞
この辺で区切りつけよう前を向く
避難所のエリアを区切るタンボール
カーテンで守る私のテリトリー
区切りつけゆつくりお茶にしませんか
マイホームの夢へ前進分譲地
ボジティブに区切りをつけて次へ翔ぶ
法要を済ませることが軽くなる
一区切りつけてはみたがまだ未練
七回忌心の区切りできぬまま
辛くても通過点だと前を向く
区切りひとつ付けねば前に進めない

西川 東岳
土居 直子
村田 繁一
山内 悦次
茶谷 好太
奥田 悦生
安西 廣恭
竹明なおみ
佐藤 后子
三瀬清一朗
鈴木かつえ
中谷 栄子
住田 昭水
鮎子田嘉子
青嶋由紀美
富永 熙子
橋 和美
辻 肇
西澤 司郎
戸田 清孝
高瀬 秀子
弘津 明子

三回忌まで終えホッとひと区切り

彩り良く区切る弁当母の愛

盛況を嬉しく区切る整理券

一言を区切り幼児に話しかけ

延延と区切り付かない孫自慢

下読みで適所に入れる句読点

凡人と才能ありにある区切り

一区切り付けば飛び出す喉自慢

スマホ手に襖一枚秘密基地

一区切りやつとはうびの缶ビール

一区切りつけてビールの一気飲み

肺気腫になってやたらと句読点

先生は区切り巧みに教え込む

偏差値で区切ると個性活かせない

密月の過ぎたあたりで脱ぐ仮面

紛争の区切りへ言葉編んでゆく

移住してこの地で確と生きていく

父と子を区切る扉を開ける母

不自由と自由寂しい独り者

イエスマン辞めて自分のサイン出す

句読点打って人生振り返る

悲しみは消えないけれど一区切り

フィナーレへ一花咲かせます後期

中村八十八

森島アツ梗

瀬戸 波紋

水戸 二七

大島美智代

山口由利子

常國 喜好

稲垣 義舟

坂本 和子

中武 弓

豊田 佳子

谷口 東風

南 高志

富川 章

原 加代子

小林 祥司

福本 清美

藤井満洲夫

掃部 博隆

田中きみ子

西谷 公造

替地三枝子

阿部 俊八

イメージ吟募集

2026年1月号(11月15日必着)

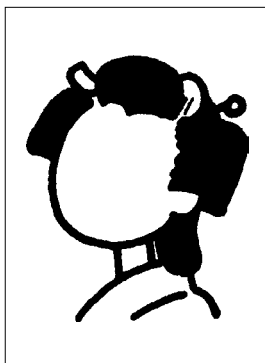
第123回 イメージ吟(2句)



※番傘11月号の投句用紙をご利用ください。

2026年2月号(12月15日必着)

第124回 イメージ吟(2句)



※番傘12月号の投句用紙をご利用ください。